

建築資格研究会

1. 建築資格研究会とは

建築資格研究会は、建築業界に長年勤務した仲間5名※1が、今までの経験を活かして「**建築を志す若い方の育成に少しでも寄与したい**」という趣旨から2015年1月1日に研究会として設立した。若手の建築関係者に聞き取り調査をした結果、大多数の方から「**一級建築士の格安講座を開いてもらいたい**」との意見※2があった。そこで、「**1級建築士**」の取得講座をインターネットを通して**無料**で提供するとなり、実行委員5名の寄付金200万円によりHPを開設した。2015年の1年間は全て無料で公開したが、HPの維持管理費と過去問の使用許諾※3のため、2年目から年会費のある「**会員講座**」を追加した(年会費**3万円/年**)。会費は、HPの維持管理費のみに使用し、資料も実行委員が無償で作成することから、極めて安価な年会費となっている(研究会は利益を追求する企業ではない)。

※1 仲の良い友人5名(全員1級建築士、内1名構造設計1級建築士、1名設備設計1級建築士)で研究会を立ち上げた。

※2 1級建築士取得に2~3年資格学校(100万円以上)へ通学しているが合格できず、独学も自信が無く、格安で学べるネット講座の開催意見が多かった。

※3 過去問は、公益財団法人建築技術教育普及センター(以下、センターと言う)から会員講座で公開することを条件に使用許諾を受けている。

2. 聞き取り調査での要望

2014年に実施した1級建築士の聞き取り調査では、次の要望が集まった。

① 業務が忙しく時間が取れないので、**過去問**が一目で見れるような資料を取りまとめて頂きたい。

② 通勤時には**スマホ**、昼休みは**パソコン**で何時でも何処でも見れる講座にして頂きたい。

③ 他社多くの講座は、数十万円と高額なため、**無料**か、それが無理なら年会費を1ヶ月のお小遣い程度にして欲しい。

その後、聞き取り調査に基づき、過去問20年の問題一覧表等をまとめ、スマホ&パソコンで何時でも何処でも見れるHPを無料で公開した。

3. 構造設計1級建築士、設備設計1級建築士、2級建築士の追加

2016年には、多くの方から「**構造設計1級建築士、設備設計1級建築士、2級建築士**」の講座も開設して頂きたいとの意見があった。それを受け実行委員で協議した結果、2017年センターから過去問の使用許諾を受けて講座を組込みました。この段階で研究会の目的が、最重要講座を1級建築士としつつ、全ての建築士資格を支援する講座となりました。

※ **実務10年**⇒2級建築士⇒**実務4年**⇒1級建築士⇒**実務5年**⇒構造・設備設計1級建築士

4. 「ひと休み建築実務の話」の組込み

研究会は、当初「**建築実務の解説**」をするHPを作りたいかった。しかし、聞き取り調査の結果、「**建築実務の話**」よりも「**1級建築士の資格講座**」にして欲しい要望が大多数であった。実行委員からは、「**約30年の実務ノウハウを何らかの形で伝えたい**」となり、1級建築士を目指すのに役立つテーマを抽出し、「**ひと休み建築実務の話**」として組込むことにした。

資格は今取得すべきものであるが、実務は一生を掛けて身に付けるものである。企業に長年勤めると、その企業、業界の立場を踏まえて、本来の純粋な技術をオブラートに包み、企業を優先した情報公開となる傾向がある。ここでは、本来の建築実務について、**純粋な技術**として解説することにした。

5. HPのメリットとデメリット

HPのメリットは、大きく次の通りである。

① スマホ&パソコンで何時でも何処でも自分のペースで見れること

② 1級、2級、構造・設備1級の全ての講座が見れること(特に1級講座に重点を置いている)

③ この種の講座としては極めて安価なこと

デメリットは、次の通りである。

① 資格学校のような対話型でないこと

② 講座が利益を求めた企業でないこと(専属担当者不在、迅速対応性不足)

③ 毎週月曜日に追加アップする手作り感を脱却できないこと

2018年からは、HP容量を5倍に増設して、「**自宅が資格学校**」となることを組み込んでいく。これは、自宅学習でも資格学校と同等以上の内容が得られるようなHPを目指すものである。ただし、本HPは資格学校を否定するものではない(あまりに高額な通学費は疑問有)。学科は当HPだけの学習で合格できる。製図は資格学校生同士の競争(2人に1人しか合格できない等)への差別化になり、また独学合格へ寄与するものでもある(2年連続予測課題が80%的中した)。

6. おわりに

当講座を開設して4年目に入りました。当初、HP来訪者は約10名/日でしたが、現在500名/日を超えている(会員も200名超え)。多くの方からご連絡を頂く中で、「**学科で2年、製図で3年学校に通い、200万円以上を掛けても合格できず、もうあきらめようとしたとき、当講座をネットで見つけて再度学科からチャレンジしようという気持ちになった**」と言うメールを頂きました。当講座は、そのような方にも**再度試験にチャレンジしたい**と思えるようなHPにする。1級建築士の製図試験は、合格者の9割※4が資格学校に通学している方である(資格学校の合格率は約50%強※5)。当HPは、通学しない方も合格できるような、また通学している方も通学者の約半数が不合格となる厳しい現実があることから、通学者であっても合格の約半数に入るために当HPを利用したいと思って頂ける講座を目指す。

他方、研究会は利益を追求する企業ではない。実行委員5名は全員が現役サラリーマンで、資料作成は休日等に行っている。HPは皆様からの意見を取り入れ、より良い講座となるよう毎週月曜日アップしている。また、事務局は、1日1回必ずメールを見るようにしているが、メールの対応では時間を要することもあるので、ご理解下さい(電話対応はしていない)。

おわりにHPを作成してもご利用頂けないと意味がない。十分な宣伝をする費用が無いので、このHPを見て頂いた皆様が、**口コミ**で宣伝して頂ければ幸いである。

※4 H27製図合格者3,774名、公表されたS社2,149名とN社1,145名で合格占有率87%、非公表含め約9割が資格学校と想定。

※5 2014年~2015年の数百名からの聞き取り調査を踏まえ、資格学校の合格者は約50%と想定(占有率ではない、出席率**%等の条件無しでの合格率)。